

歩いて巡る 佐倉七福神めぐりコース

京成佐倉駅



徒歩15分

① 宗圓寺(寿老人)



徒歩 2分

② 甚大寺(毘沙門)



徒歩2分

③ 嶺南寺(弁財天)



徒歩 2分

④ 妙隆寺(大黒天)



徒歩8分

⑤ 松林寺(毘沙門)



徒歩 10分

⑥ 佐倉新町おはやし館



徒歩 10分

⑦ 麻賀多神社



徒歩 10分

⑧ 武家屋敷



徒歩3分

⑨ ひよどり坂



徒歩1分

⑩ 大聖院



徒歩17分

京成佐倉駅



寛永16年に松本城主堀田加賀守正盛が建立した寺を寛永19年に佐倉に移転。墓地には家老や執政、また順天堂創立者の佐藤泰然の墓などがあります。



甚大寺は市内唯一の天台宗の寺院で、佐倉藩主堀田家の菩提寺です。本尊は十一観音菩薩であり、その他、金毘羅尊、不動明王、毘沙門天、仁王尊が奉られています。



嶺南寺は曹洞宗にして寛永19年(1642)当時松本藩主であった堀田加賀守正盛の佐倉移封とともに佐倉へ移り建立。釈迦牟尼佛を本尊とし、堂内には閻魔大王が安置されています。



文明3年(1471)本土寺の第九世日意上人によって開創。当初は佐倉城の大手門を出たところにあったが宝永年間に現在位置に移る。山内に子安鬼子母神、大黒天、清正公、稻荷尊をまつています。



松林寺は佐倉藩主土井利勝により、佐倉城の築城と同時期に建立されました。現本堂は利勝が春日局から譲り受けた聖観音像を安置するために建てられた観音堂です。



【佐倉新町おはやし館】では、各町内の所有する6体の山車人形のうち2点が展示され、郷土の文化・伝統行事などの紹介や観光情報の提供をおこなっています。また城下町めぐりの休憩所としてもご利用いただけます。



【麻賀多神社】は旧佐倉藩の総鎮守として、古くからこの地方の人々に親しまれてきたお社です。樹齢800年以上の大銀杏をはじめ古木・大木に囲まれた境内は氏子・崇敬者の憩いの場となっています。



関東最大級の武家屋敷群は、城下町の面影をいまに残す土塁と生垣に面して【旧河原家住宅】【旧但馬家住宅】【旧武居家住宅】の3棟が公開されています。



ひよどり坂は最近インスタスポットとして注目を集めている美しい竹林に囲まれた古径(こみち)です。江戸時代から変わらないこの坂は【サムライの古径】と呼ばれています。



大和田山大聖院と称し、鎌倉時代に開山した真言宗豊山派の寺院です。本尊の大日如来は、佐倉市指定有形文化財に指定されています。

歩いて巡る 佐倉七福神めぐりコース

